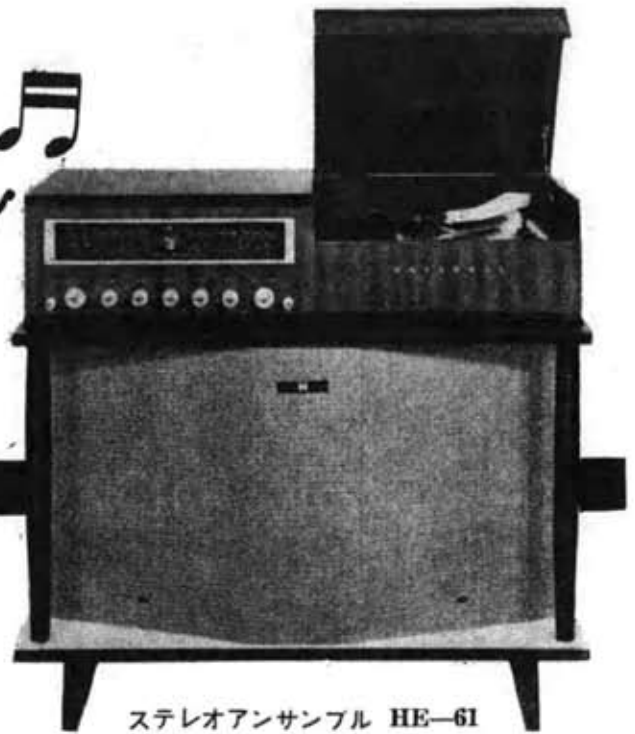


魅惑する ♪ ♪ ♪ 立体音の秘密!

ステレオアンサンプル HE-61
ステレオコンソラ HC-51



ステレオアンサンプル HE-61

繊細なバイオリンの音、轟くようなバスの音……、部屋いっぱいに動き、かけめぐる音に、いったん耳を傾ければ最後、そのすばらしさに驚嘆させられるのが、いわゆるステレオ演奏です。

それには、それだけの豊かな、美しい音を再生する、すぐれたステレオ再生装置が必要なのは当然ですが、このたび、弊社が過去1,000万台の生産を誇る、長い経験と最新の技術から生み出した、ステレオアンサンプル HE-61 ならびにステレオコンソラ HC-51 は、文字通り、ステレオ再生に必要なすべての機能と性能を発揮する、すぐれたステレオ装置です。

すなわち、「HE-61」は、「HE-60」のジュニアタイプとして、「HE-60」のすぐれた機能をじゅうぶんに生かしながら、ステレオのための左右のスピーカーを一つのキャビネットにまとめ、それぞれのプログラムソースを Hi-Fi で再生するために、増巾装置だけでなくスピーカーシステムにもじゅうぶんな配慮をつくして完成したものです。

また、「HC-51」は、アンプ部とプレーヤー部、スピーカー部を一体としたコンソラタイプで、取扱いや設置が容易で、しかもステレオ再生する場合の機能・形状など、あらゆる要素を考慮して完成した実用型ステレオ装置の決定版ともいべきものです。

したがって、両品とも数多くのすぐれた機能をもっていますので、その特徴点について述べてみましょう。

ステレオアンサンプル HE-61

【Hi-Fi アンプ】

アンプ部の機能は、HE-60と同様で、コントロールツマミや電気的な性能はまったく変わりません。すなわち、音量調整や高音、低音、バランスなどのツマミはすべて、二連式を採用していますので、左右チャンネルについて各々調整する必要がなく、「ステレオ」や「モノ」などに切り換える

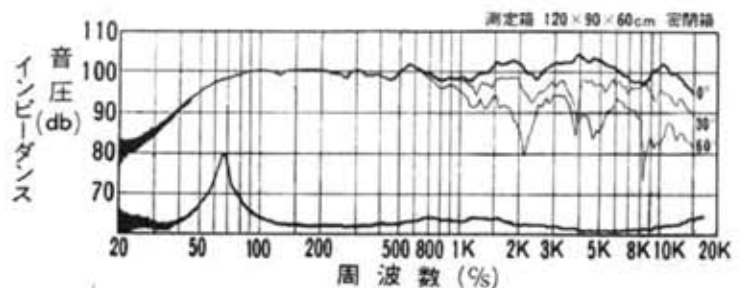
モードスイッチ、左右スピーカーの位相を切り換えるフェイジングスイッチ、マジックアイを同調指示とバランス指示に切り換えるインジケータースイッチなどのツマミつきで、しかもそれらが操作しやすいように前面につけてあります。また回路も、左右チャンネルの混信防止や、音質改善にじゅうぶん考慮された高性能の HE-60 に採用したものと同様に、すばらしい特性を発揮します。(HE-60のアンプのくわしい性能については、タイムスの昨年8月号本文頁に記載していますから、ご参照ください。)

【プレーヤーケースつきアンプです】

この Hi-Fi アンプは、プレーヤー部と一体となっていますので、レコード演奏に際してもプレーヤー部の操作とアンプのツマミの操作がスムーズにでき、またアンプとスピーカーを切り離してリモートコントロールをする場合にも、大変好都合です。

【デュアキシャルスピーカーの採用】

この「HE-61」の大きな特徴は、好評のデュアキシャルスピーカー2本を採用している点です。



第1図 8P-X1の周波数特性

すなわち、低音用のウーファーと高音用のツイーターとを同軸に組合わせた、いわゆる「デュアキシャル（複合）スピーカー 8P-X1」の採用で、高音と低音が同じ音源から出るため、位置のズレがありません。しかも低音部を能率よく再生するためにキャビネットをバスレフ型にし、また中音域以上の特性を改善するために、スピーカーのコーン紙に楕円形のコルゲーションを設けるなど、低音から高音までヒズミのない高忠実度特性で再生します。（第1図参照）



デュアキシャルスピーカー
8P-X1

【広い範囲で立体音が聴けます】

左右のスピーカーは、やや外側に向け取り付けられていますから、同一のスピーカー間隔で真正面に向けたスピーカーシステムに比べて、ステレオでの聴く範囲が拡大され、立体効果がぐんと増します。また、一つのキャビネットに左右のスピーカーが収納されていますので、取扱いやすく、場所もとりません。

ステレオコンソラ HC-51

【高感度回路を採用しています】

イ) NFB と 6BM8 出力管の採用

低周波回路において、出力の一部を入力側に NFB（ネガティブフィードバック）させますと、周波数歪や振



ステレオコンソラ HC-51

幅歪が減少して音質が改善されるほか、動作が安定し、電源電圧の変動による影響も少なくなり、また増巾器内部や電源からの雑音を少なくします。しかも本機では、Hi-Fi 専門の高出力管 6BM8 を使用していますので、強い NFB をかけて、なお無歪 2W-2W（総合 4W）の、家庭用としてはもちろん、喫茶店などのプロフェッショナルにもご活用ねがえるじゅうぶんな出力が得られます。

ロ) ダストコア・アンテナ

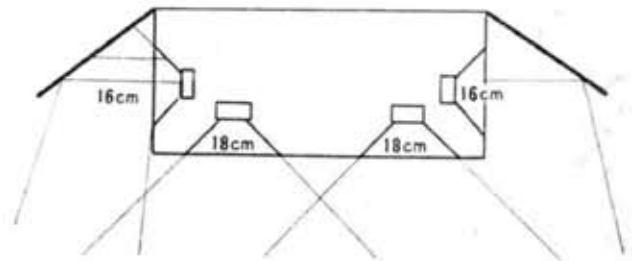
800 mV/m/50 mW の輻射感度をもつダストコアのフェライトアンテナを内蔵していますので、中波はもちろん、短波放送の弱い電波でもすばらしくよく受信し、雑音の少ない高感度特性を示します。

【Hi-Fi 立体音が楽しめます】

イ) 2ウェイシステム

18 cm スピーカーと 16 cm スピーカーを使用した 2ウェイシステムによって、低音から高音までダンピングの少ないフラットな音響特性を発揮します。

ロ) 音の広がりが調整できます。



第2図 音の広がりが可変レフレクターで調整できる

さらに、それらのスピーカーの配置は、第2図のように 18 cm スピーカーを前面に、16 cm スピーカーを側面に取り付け、可変レフレクター（反射ドア）によって側面から出る音の広がりが調整でき、多数でステレオを楽しむのに効果的な機能を発揮します。

【一つにまとまっています】

スピーカー、アンプ、プレーヤー部が一つにまとまったタイプで、従来のセパレート装置に比べて、取扱いや設置、接続が容易になり、しかも各部の機能やデザインが完全に調和しています。

【ステレオ放送受信には】

本機は1チューナーだけしか内蔵されていないので、そのままではステレオ放送が受信できませんが、本機の後部端子に別のチューナーを接続しますと、容易に立体放送がお聴きいただけます。（このことについては新製品タイムス1月号 B-4 に掲載の、ステレオコンソラ HC-51 の裏面をご参照ください。）